

雲仙警察署協議会第2回会議議事概要

日 時	令和4年4月28日（木） 14時00分～15時10分
場 所	雲仙警察署講堂
出席者	<p>1 協議会 本多会長 古賀委員 田中委員 柿川委員 宅島委員 熊辻委員</p> <p>2 警察署 宮崎署長 塩田警務課長 井上交通課長 生活安全係長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見である「ニセ電話詐欺被害防止」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 会合等における防犯講話や年金支給日における被害防止キャンペーン等を行った。</p> <p>(2) 予兆電話があった方や希望者等に自動通話録音機の貸出しを行い、これまでに115台を貸し出した。</p> <p>(3) 雲仙市防災行政無線を活用した被害防止広報を計9回実施した。</p> <p>(4) 金融機関と連携し、ATMコーナー付近に広報チラシや防犯のぼり旗を掲示した。</p> <p>(5) コンビニエンスストアと連携し、注意喚起シート及び注意喚起カードを配布した。</p> <p>(6) ひまわりテレビや防災無線、ファックスネットワーク、安心メールキャッチくんを活用し、タイムリーな広報を行った。</p> <p>2 令和4年1月から3月の業務推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 警察安全相談への的確な組織的対応</p> <p>ア 受理状況</p> <p>(ア) 各課別相談件数</p> <p>(イ) 生活安全課関係相談の内訳</p> <p>イ 相談処理状況</p> <p>ウ 具体的な相談対応事例</p> <p>(2) 各種犯罪を抑止するための防犯環境の整備促進</p> <p>ア 街頭防犯カメラの増設</p> <p>イ 市公用車による「ながら見守り」活動の推進</p> <p>ウ 自動通話録音機の増設</p> <p>(3) 110番通報の適切な利用の促進</p> <p>(4) 窃盗犯罪の検挙推進</p> <p>(5) 冬期における迅速的確な交通対策の推進</p> <p>ア 交通事故（人身事故）発生状況</p>

	<p>イ 冬期における交通対策の推進 (ア) 道路管理者との連携 (イ) 積雪を伴う交通事故の発生状況</p> <p>ウ SNSを活用した積雪時の交通事故防止対策</p> <p>エ 高齢運転者の免許更新時の運転技能検査義務化（法改正） (6) 沿岸警戒の推進</p> <p>3 業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 新体制における各種訓練の推進 (2) 総合的な犯罪抑止対策の推進 (3) 管内実態把握活動の推進 (4) 窃盗犯罪、詐欺事件検挙の推進 (5) 子供と高齢者の交通事故防止対策の推進 (6) 各種災害対策の推進</p> <p>4 諮問テーマに対する答申について 署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答申があった。</p> <p>(1) 諮問テーマ 警察官採用試験の受験者数を増加させるための方策について</p> <p>(2) 協議会からの答申 本多会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。</p> <p>ア 各種広報媒体を活用した魅力ある宣伝活動を行う。 イ 学生と警察官が接する機会を増やす。 ウ 警察は堅い、厳しいという固定概念を払拭する。 エ 小さな子どもが関心を持つような宣伝活動を行う。</p>
提出意見	<p>○ 各種災害対策の推進 5月、6月の梅雨のシーズンになれば、昨年発生した雲仙地区における土砂災害のように、局地的豪雨による災害が懸念されるため、各種災害に備えるための防災活動を推進してもらいたい。</p>